

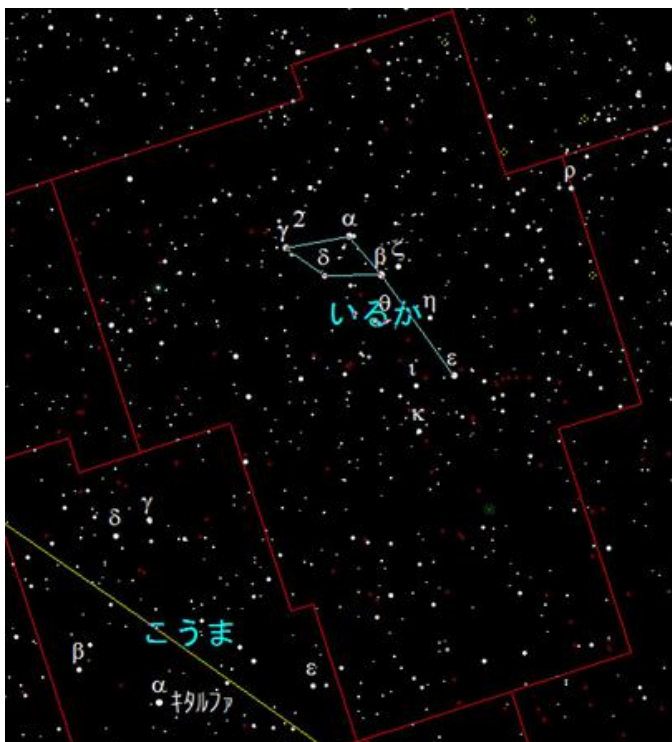
「いるか座(1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

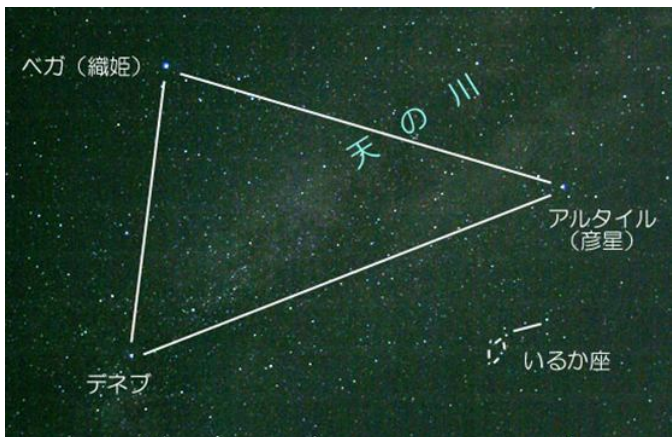
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

全天には88の星座がある。オリオンのように2つの1等星を持つ大きな星座や、さそり座のように目立つ形で有名な神話の星座もある。「いるか座」はちょっと忘れられたような星座の一つだ。



いるか座には1等星はない。1等星どころか、2等星も3等星もない。ひし形の星の並びと、そこから延びる1個の星、普通はこの5個の星で形どられる。この5つの恒星は、すべて4等星だ。



この4等星ばかりの小さな星座は、天の川のべールをまとった、華々しい夏の大三角の脇に、ひっそりと横たわっている。実に控えめな星座だ。



いるか座は、夏から秋にかけて、ほぼ天頂付近に見える。小さな星座なので、カメラの標準レンズ(50mm)でも全景を写すことができる。



4等星ばかりなので、東京都内では観望が難しい。しかし空の暗い土地なら、肉眼ではっきり形がとれる。いるか座は、私が好きな星座の一つだ。